

# 3月定例会 総括質疑要旨

## 総括質疑



### 少子化対策について



太田クラブ 渡辺 謙一郎

議員 児童虐待の相談支援体制や関係機関との連携状況、子ども家庭総合支援拠点の進捗状況について伺います。

福祉こども部長 令和元年度より心理士を配置する等、相談支援体制の強化に努めており、こども課は要保護児童対策地域協議会の担当課として、関係機関と対応策を協議しています。今後、専門職による児童虐待への対応や家庭支援の強化を図るため、子ども家庭総合支援拠点を開設する予定であり、組織の充実と有資格者の人員の確保に努めたいと考えます。



議員 太田市移住支援金事業の概要と実績、支給要件について伺います。

企画部長 東京圏からの転入者に対し

て最大で100万円の支援金を支給し、転入促進を図る事業です。転入前の直近10年で通算5年以上、東京都23区内に居住または通勤している等の条件を満たすことが支給要件ですが、該当するケースは少なく、いまだ実績はありません。

議員 ポストコロナ時代の到来を見据え、子育て世代の定着や新たな人口の転入を図るため、感染拡大防止と社会経済活動の両立を混乱なく実現できる社会、デュアルモード社会を実現すべきです。そのために市として二拠点居住の推進や地域活性化に向けた施策を行う必要があると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 他自治体から作為的に人口転入を図るよりも、本市に住む人がいかに幸せに生活できるかを考えたいと思います。移住や二拠点居住等については研究して、時代の変化によるさまざまなケースに対応できる市でありたいと思います。

- その他の質問
- ・商業振興と観光の活性化について

## 総括質疑



### 本市の公共工事について



太田クラブ 大川 敬道

議員 令和2年度の農村整備課および道路保全課における発注案件数と入札不調件数、不調発生の要因について伺います。

総務部長 農村整備課では22件を発注し、入札不調が6件、道路保全課は44件を発注し、入札不調はありませんでした。不調案件の多くが入札直前での辞退であり、その理由の多くは技術者の配置が難しい等、入札参加者それぞれの事情によるものと考えられます。



議員 東日本大震災から10年がたとうとしていますが、先日宮城県で震度6、本市においても震度4という大きな地震に見舞われ、各地の道路や河川が損傷しました。市民の生活を支える道路・橋梁と

いったインフラ機能の安定的な維持が必須と考えます。本市が平成24年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画における取り組みについて伺います。

都市政策部長 令和元年度に橋長が2桁以上である759の橋梁を対象とし、当該計画を更新しました。また、平成26年度から全ての橋梁を対象に、5年に1回の頻度で定期点検を実施しています。

議員 担当課によって入札不調の件数の差が大きいのは、採用している歩掛の経費が異なるためであり、改善すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 全てが不調となっているわけはありませんので、要因はそれ以外にあると考えます。建設業者に落札してもらえるように努力してもらおうとともに、入札審査委員会でも議題になるとしますので、検討していきたいと考えます。

- その他の質問
- ・本市の財政運営について
- ・本市の運動施設について

## 総括質疑



### 令和3年度施政並びに財政方針及び予算について —(仮称)太田西複合拠点公共施設と公共施設の地域面・機能面の集約について—



創政クラブ 今井 俊哉

議員 (仮称)太田西複合拠点公共施設における機能面および地域面での集約について、それぞれ所見を伺います。

企画部長 本市の西部地域における文化や健康、交流等の拠点的機能を持たせ、にぎわいや地域の魅力を創出させることで市内の均衡ある発展を促します。なお、特定の地域のみを対象として集約を図るのではなく、地域全体のサービス機能のバランスに鑑みて決定したいと考えます。



議員 例えば、図書館はできるだけ子どもが自分で行ける範囲にあるのが望ましいと考えます。このように、地域面の集約は利用者の属性や交通の便等の要素を細かく分析、検討した上で慎重に進め

るべきですが、市長の所見を伺います。

市長 図書館については、車社会であるという本市の特性から、集約して中身を充実させるとともに、分館機能は残して不都合のない環境を整えたいと考えます。行政手続きの機能は集約し、現在の行政センターは文化・社会的な活動を行う施設として残したいと思えます。きちんと独立機能をもって西部地域全体をカバーした上で、施設周辺はにぎわいを創出するゾーンとしてまち全体のバランスを取っていかねばと考えています。

- その他の質問
- ・スポーツ振興とまちのにぎわいづくりについて
- ・市街地再開発事業とまちの将来像について
- ・太田強戸スマートIC周辺開発と地域活性化及び農業振興について
- ・災害に強いまちづくりについて
- ・情報発信とパブリックコメントについて

## 総括質疑



### (仮称)市民体育館建設事業について



日本共産党 石井 ひろみつ

議員 群馬クレインサンダーズの本市へのホームタウン移転により、新市民体育館建設のインシャルコストの増額を見込んでいますか伺います。

文化スポーツ部長 必要な整備について今後協議をしていきます。先進的であり使いやすい施設、また市民の防災拠点となることを念頭に置き、市スポーツ協会等から意見を聞くなどして、現予算の中で反映させる協議を進めています。

議員 予算の変更について明確に答弁できないことから、この計画がいかにかに性急かと思えますが、所見を伺います。

文化スポーツ部長 既存の市民体育館はおおよそ築40年です。令和元年東日本台風で避難所として開設した際に不具合が顕著となり、拠点となる避難所の必要性が明らかとなりました。また、スポーツによる持続可能なまちづくりプロジェクト事業に賛同する企業の見込みも立ち、新市民体育館の建設に着手した次第です。

議員 新市民体育館の建設に際して

は、経済効果等のリサーチや関係団体の意見集約等を十分に行うべきだったと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 民間企業と一緒に事業を展開するには、お互いの意思が一致するタイミングが非常に重要です。そのマッチングが成立した今、このチャンスをつかむべきと考えています。また、群馬クレインサンダーズがB1リーグに上がれば、全国からファンが訪れ、関係人口の増加やまちの発展につながります。議員にもそのようなチャンスを見つけて提案してもらえればありがたいと思えます。

- その他の質問
- ・公共交通の利便性の向上について

